

比較文化演習B II

科目ナンバリング JLT-304
選択必修 2単位

濱田 陽

1. 授業の概要(ねらい)

独創的な研究テーマを推奨する。

日本文化の研究領域は多岐に及ぶ。本演習では、これまでに多彩な研究対象について発表がなされ、さらなる研究能力の向上や卒業論文執筆に結びついている。具体的に列挙すれば、神話、宗教、思想、哲学、文学、歴史、近代、教育、観光、食文化、喫茶文化、和菓子、漫画、アニメーション、ファッション、化粧、風俗、習慣、言語、書、色彩、絵画、文化遺産、自然環境、平和構築、戦争の記憶、出版文化、音楽、芸能、日本の科学技術、日本のスポーツ、庭園、建築、SNS、折り紙、招き猫、家紋などである。

秋期のプレ発表では春期から夏休みかけて取り組んだ研究内容について研究テーマ共有を試みる。その上で、個人研究発表では、文献、インターネット、フィールドから得た成果を独自の視点で総合し、多角的で広い視座から自身のテーマを深く掘り下げ、研究発表を行う。

まとめでは、発表から得られた多彩な意見を検討し、来年度演習、卒業論文執筆計画をも加味した「研究レジュメ・完成版」を完成させて提出する。

2. 授業の到達目標

文化学の三つの情報源である①文献(紙媒体情報)、②インターネット(電子媒体情報)、③フィールド(生の情報)から重要な資料を収集・選択・分析・総合・アウトプットする能力を高め、「研究レジュメ・完成版」を作成する。

なかでも、研究の軸とする文献・資料の内容を独自に再検討し、新たに設定した独創的な研究テーマにもとづき、さらなる文献、インターネット、フィールド調査を実施、次年度演習や卒業論文につながるような総合的で深みのある研究成果を得ることをめざす。

3. 成績評価の方法および基準

演習参加と個人研究発表(50%)、「研究レジュメ・完成版」(50%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

必要な資料はプリントで配布

5. 準備学修の内容

自分の研究テーマについて日常的に考える習慣をつくり、常時、研究資料を収集、蓄積し、「研究レジュメ・完成版」を作成すること

6. その他履修上の注意事項

長期的に関心が持て、本当に打ち込める研究テーマを発展させること

7. 授業内容

- 【第1回】 プレ発表(研究テーマ共有)1
 - ・夏休み中の研究について受講者間で意見を交換、共有する。夏休み課題である「研究推敲要旨」を語る(一人3分ずつ全員)。「研究案」(再稿)をもとに練り直し、1000-1200字で文字化したもの。印刷し二部持参)
 - ・個人研究発表順を決定する。
- 【第2回】 プレ発表(研究テーマ共有)2
- 【第3回】 個人研究発表1
 - ・「研究レジュメ」を作成、発表する。(情報交換5分 2名発表×40分=80分 総合的研究指導5分)
- 【第4回】 個人研究発表2
- 【第5回】 個人研究発表3
- 【第6回】 個人研究発表4
- 【第7回】 個人研究発表5
- 【第8回】 個人研究発表6
- 【第9回】 個人研究発表7
- 【第10回】 個人研究発表8
- 【第11回】 個人研究発表9
- 【第12回】 個人研究発表10
- 【第13回】 総まとめ・研究レジュメ(完成版)提出1
 - ・発表で得た知見等を十分に反映させ、「研究レジュメ・完成版」を作成、提出する。
 - ・来年度演習、及び、卒業論文執筆を視野に入れた総まとめを行う。
 - *進捗調整により個人研究発表等に充てる場合がある
- 【第14回】 総まとめ・研究レジュメ(完成版)提出2
- 【第15回】 総まとめ・研究レジュメ(完成版)提出3